

## 第1回 喜茂別町地域公共交通活性化協議会

### 1. 開会あいさつ

(伊藤) ただいまから、第1回喜茂別町地域公共交通活性化協議会を開会いたします。  
会長選出までの間、司会・進行を努めさせていただきます喜茂別町総務課企画室長の伊藤と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。  
開会にあたり、菅原喜茂別町長よりご挨拶申し上げます。

### 2. 喜茂別町長挨拶

(挨拶終了後)

菅原町長におかれましては、この後の所用がありますので、ここで退席させていただきますのでご了承ください。

### 3. 委員の紹介

(伊藤) 第1回目の会議ですので、ここで各委員の皆様をご紹介します。  
私がお名前を読み上げますので、それぞれご挨拶をお願いいたします。  
北海道運輸局札幌運輸支局 首席運輸企画専門官 工藤正弘様  
北海道後志総合振興局 地域政策部地域政策課長 三浦寛明様  
本日、随行として同じく地域政策課 栗田史恵主査  
道南バス株式会社 営業部長 柴田 淳様  
本日、代理出席として営業部企画担当次長 伊藤晴美様  
社団法人北海道バス協会 札幌地区バス協会常務理事 日野健一様  
本日、都合により欠席しています。  
寿都ハイヤー有限公司 富士支店長 岸本 健様  
有限会社富士バス 代表取締役社長 本間洋昭様  
喜茂別町商工会 会長 菊地利憲様  
喜茂別町PTA連合会 会長 東原弘行様  
社会福祉法人社会福祉協議会 会長 鷹羽保夫様  
自治連絡協議会 会長 村上正彦様  
喜茂別町老人クラブ連合会 会長 中野忠義様  
JA ようてい女性部喜茂別支部 支部長 行天 忍様  
本日、都合により欠席しています。  
双葉地区から利用者代表として 松田 薫様  
本日、都合により欠席しております。  
御園地区から利用者代表として 渡邊 榮吉様

喜茂別町副町長 内村俊二様

本日、都合により欠席しております。

そして、喜茂別町教育委員会、住民課、健康推進課を加えて構成員とします。また事務局として総務課企画室とします。

<順に各委員の自己紹介>

#### 4. 喜茂別町地域公共交通活性化協議会規約等の決定について

(伊藤) 協議会規約について、事務局よりご説明申し上げます。

(事務局) 協議会規約、事務局規程、財務規程について説明

(伊藤) 今、説明しましたが、規約等につきまして異議や意見がございましたら、挙手お願いいたします。

ご異議がなければ、提案させていただいた協議会規約、事務局規程及び財務規程について決定させていただきます。

#### 5. 役員の選任

(伊藤) 次に役員の選任でございますが、協議会規約第5条第2項により、会長は内村副町長が務めさせていただきます。副会長及び監事につきましては、第5条3項の規程により、会長が指名する者とされておりますが、本日所用があり、どうしても出席することができません。事前に内村会長より副会長・監事にご指名する方を確認してありますので、私から申し上げますよろしいでしょうか。

(委員より異議なしの発言)

それでは、副会長を喜茂別町商工会の菊地会長、自治連絡協議会の村上会長に監事を社会福祉協議会の鷹羽会長、喜茂別町老人クラブ連合会の中野会長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

<会長・副会長・監事席移動>

#### 6. 会長挨拶

(伊藤) 続きまして、内村会長が欠席をしておりますので菊地副会長よりご挨拶をお願いします。

(菊地副会長) あいさつ

(伊藤) ありがとうございます。

## 7. 報告事項

(伊藤) 以降の進行は、規約第6条2により副会長の進行により進めさせていただきます。

(菊地副会長) 報告事項について、一括して事務局から説明をお願いします。

(事務局) 地域公共交通活性化協議会設置の目的と役割、先進地の例、喜茂別町における交通の現状の説明

(菊地副会長) ただいま、事務局より報告事項について説明がありましたが、ご質問などありませんか。

(質問等なし)

## 8. 議題

(菊地副会長) 次に議題(1)から(2)について一括して事務局より説明をお願いします。

(事務局) 地域公共交通確保維持改善事業、平成25年度の取り組み事項

(菊地副会長) 議題について、説明がありましたがご質問などありませんか。

(岸本委員) タクシー事業を昭和33年より実施しているが現在では、日中3,000~5,000円、夜間は1,000円程度が1日一人が喜茂別での売り上げになっており町内では業務としてできない状況であるため、運行の委託等ならやっつけけるのでは、

(事務局) 調査事業で、年齢層、乗り場の利用数、ダイヤと利用者、目的別の利用者などを調査されたものを協議会に報告しながら、どのような方法で住民の足を確保するか考えていきたい。

(中野委員) どのような運行を考えているのか

(事務局) 停留所があり、そこから乗り目的地の停留所までいくコミュニティバスと住宅の玄関から目的地までいくデマンドタクシーがあるが、調査結果を協議会に報告した中で進めるが、実証運行は別に進めていく予定でこれはデマンドで進める。

(本間委員) デマンドタクシーなどを実施すると事業者は町内ではかなり厳しい経営となる、どのようにしたら協力できるか協議していきたいのでバランスのとれた事業に

してほしい。

(菊地副会長) 公共交通として、喜茂別のスタイルをこの協議会で考えていきたい。バスがいいのか、タクシーがいいのか、それには住民の理解が必要である。実証運行をすれば、利用が多くなる場合、逆に少なくなる場合を調査していくことは必要である。また、この事業を実施することにより、事業者が町から撤退することでは困る。どのような公共交通が必要であるか、この協議会で考えていきたい。

(本間委員) 実施している地域の視察なども考えてほしい

(事務局) 検討していきます。

## 9. その他

(菊地副会長) 最後にその他ですが、事務局より連絡事項等がありましたら、お願いします。

(事務局) 規約第7条6項の規程に基づき、今回の協議会は原則公開で行うこととなっております。また、本日の内容につきましては、町のホームページに公表しなければならないこととなっており、議事録の整理ができ次第、町のホームページに載せさせていただきたいと思っております。

## 10. 閉会

(菊地副会長) 以上をもちまして、第1回喜茂別町地域公共交通活性化協議会を終了いたします。なお、第2回の協議会につきましては、改めてご案内させていただきます。本日は、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。